

KEY TOPIC

2024年3月期売上高100億円突破 躍進を支えた情報誌の進化

5月10日、第46期(2024年3月期)の決算短信を発表しました。一年を通じた経営成績として当社グループは、3期連続の増収増益、連結売上高が初の100億円突破、当初予想を2円上回る配当金12円(前期+2円)などを報告。当初予想を上回り市場の期待に応える発表となった要因と第47期の展望について、大島齊社長に話を聞きました。

ハイブリッド広告が 業績好調の推進力

「ABCX」をスローガンに、DXによる広告の効果測定と分析でポスト型フリーメディアを進化させ、当社グループのビジネスモデルの深化、中広と地域の変革を目指した第46期(2024年3月期)。5月10日の決算短信発表では、連結業績で3期連続の増収増益(営業利益304百万円/経常利益307百万円)、売上高10,237百万円、配当金は40期・41期に並ぶ過去最高の12円を報告することができました。この要因について大島社長は、「ハイブリッド広告が大きな推進力になりました」と説明します。

多くの企業や個店がホームページを持ち情報発信している現在。しかし数多あるウェブサイトから検索上位に躍り出て消費者との接点を得るには、莫大なSEO対策費用が必要になります。当社グループでは、地域の一軒一軒の世帯に配布するポスト型フリーメディアならではの確実なリーチで、SEO対策をしなくてもQRを介して紙からクライアントのサイトへ、ダイレクトに消費者をつなぐことができます。『「地域みっちゃん生活情報誌」に掲載されるQRコード数は



名古屋証券取引所にて決算発表記者会見に臨む大島齊社長と倉橋誠一郎管理本部長

月間、約2億8,000万件。このレスポンスを瞬時に、データサイエンスを駆使して分析することで、地域の消費傾向や嗜好性までもが解析できるようになり、読者とクライアントに最適な提案ができるようになりました。これらが業績につながっています」と、第46期に掲げた変革の成果を強調。第47期はテーマである「Data Driven」(データドリブン)によって、この成果をより発展させていく展望を改めて示しました。

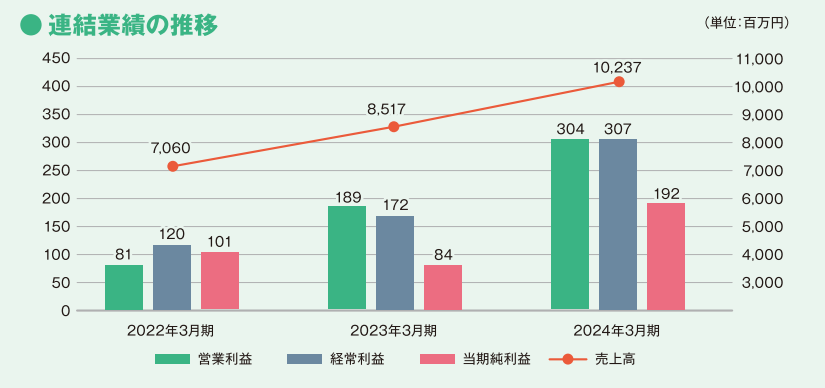
Data Drivenで描く 第47期さらなる飛躍

前期決算短信にて公表された第47期(2025年3月期)の連結業績予想は、売上高12,000百万円、営業利益と経常利益が共に600百万円。「営業利益を前期の倍にするために、生産性の向上をより深化させます。その軸になるのがAIの活用です」と大島社長。

国内最大級のフリーメディア・プラットフォームとして独自に集積したデータに基づいて開発運用されるAIが制作を補助することで、広告効果と生産性を向上。これによって生み出された時間で、グループ全体680名の従業員はクリエイティブや企画を練る時間に注力し、FM事業部はもっと読者をドキドキ・ワクワクさせる誌面作りに、SP事業部は国を動かすような提案にまい進するのだと大島社長は話します。

大きな成果を残した第46期。3期連続の成長曲線に乗り、さらなる飛躍を果たすための足場は築かれました。

● 連結業績の推移



COLUMN

人間は働くから人間だ 昨日と違う新しい自分を見つけたい

感謝の心、素直な態度 謙虚な姿勢

早朝ウォーキングで、インド人と知り合いになりました。カレー店で真面目に働く彼は、「ワタシ日本に来て25年、言葉わからない」「日本、もっと知りたい。それには言葉覚えたい」と言います。そこそこ会話はできるのに教えてくれというのは、日本語よりも日本人の心を知りたいのかも勝手に想像し、感謝の心・素直な態度・謙虚な姿勢の三つだけを繰り返し教え聞かせることにしました。「ワタシ誰にでも、ありがとう言う。そして人に何か言われたら、ありがとうと合掌する。それ感謝ね」と。

「素直とは、怒らないことか」と聞かれ、「そうだ、人の話を聞くことだ。相手の言うことを一生懸命に聞く。そして、その人に学ぶ。これが素直の意味だ」と教えると「一緒に働く人と喧嘩しないことね」と頷きます。彼は、何となくわかり掛けたようです。でも謙虚はまだ理解はできず、「ケキョ、ケキョ」と若い驚のような発音。「私美味しいカレー作るね。お客さん喜ぶ。その顔見て、ありがとう言う。また来てくれるね。社長さん優しいね。ワタシ一懸命働くね。お金インドの家族に送る。子ども大きくなった」と嬉しそう。「自分のためないね。家族のため、働く」とニコニコ顔で話す彼は、働く原点、何のために人は働くのか、わかっているのだと思いました。

人に教えることで、自分が教わる。人に教えて、まだまだ学ぶことが見えてきます。生涯現役、生涯喜働でありたいと願っています。

働き方改革 社会は変わったか

「働き方改革関連法」の施行から5年が経ちました。厚労省は、働き方の多様性に対応すべく、労働基準法の抜本的な見直しを議論しています。40年ぶりに、労基法の大改正が行われるのでしょうか。

日本の全企業数のうち99.7%を占める中小企業。その経営者の多くは、この「働き方改革関連法」に対する疑問を持っていると思っています。この法律が施行されて以来、この国は良くなってきたのか。労基法の改正を議論する前に、今一度、考えるべき時ではないでしょうか。

2019年4月に「働き方改革関連法」を施行した安倍内閣は、これを「一億総活躍社会

実現に向けた最大のチャレンジ」とし、「50年後も人口1億人を維持し、職場・家庭・地域で誰もが活躍可能な社会」を目指すとしていました。その最大の課題が「長時間労働の解消」です。長時間労働こそが労働者の生産性を阻害する要因であり、また労働者の生活を破壊しているとした。

そして、建設、運輸、医療に対して例外的に認められていた時間外労働の上限規制の猶予が今年3月末日に終了。運送や物流の現場で働くドライバー、医療に従事する医師は時間外労働の上限規制となり、深刻な状況となっているのが2024年問題です。それぞれの現場で大きな混乱が生じているのが現状です。



「火の誓い」河井寛次郎(著)

働き方改革を進めたこの5年、社会はどのように変わったのでしょうか。内閣府は「働き方改革の効果検証」をまとめ、リクルートワークス研究所では働く人約5万人の追跡調査を行っています。その結果、労働時間の短縮化、非正規の処遇改善、女性とシニアの就業の安定化などが進みました。働き方改革がカンフル剤でないことは言うまでもありませんが、「一億総活躍社会」には程遠く、出生数も就労人口も減っていく一方で。

医師と教師 先生たちの働き方

旭川赤十字病院の脳神経外科部長だった上山博康さん。「神の手」を持つと言われ、全国から手術を受けたいとの声が届きます。彼は「医者には目線の高さを変えるな」と言いました。「患者は人生を懸けて手術台に上がるのだ。現代医学では、この病気を治すのは無理だとか、常識的にできるわけがないなどとダメ医者は簡単に言うが、私はそんな理由で拒まない。患者とともに泣いて笑って一

緒に戦う。私の肉体はいつか限界を迎えるが、心だけは絶対にそれより先に折れたくない。医師に大切なのは、熱い心と情熱だ」と。若い医師に「患者から感謝された時の喜びを味わえ、喜びの麻酔に浸れ。それが医師の使命だ」と教えます。

病院勤務医の長時間労働は診療科や当直勤務、年齢・性別によって違いはありますが、人の命を預かる医業とはそもそも、時間で割り切れる仕事ではありません。2024年問題、医師たちはどのように取り組んでいくのでしょうか。

学校教育を担う教師の現場も、長時間勤務が問題になっています。学習意欲の低下をはじめ不登校やいじめの問題、モンスターペアレント、教育委員会との連携の不十分さなど、現場の課題は山積みです。22年度、精神疾患で休職した全国の公立学校教員は6,500人以上。1カ月以上の病気休暇と合計すれば過去最多の1万2,192人に上ります。異常な多さだと言わざるを得ません。教師の使命は子どもの教育です。その務めを果たせず、現場から離れていった教員たちは、この働き方改革に対してどう考えているのでしょうか。

新しい自分が見たい だから仕事をする

大正から昭和にかけて活躍した陶芸家、河井寛次郎は「暮しが仕事 仕事が暮し」という言葉を残しています。現代のようなワーク&ライフといった分け方はなく、仕事と暮らしが混然とした日常です。

河井翁は「新しい自分が見たいのだから仕事する」とも書き残しています。昨日の自分に用はない。昨日と違う新しい自分を見ようとしている今日。繰り返しているように見えても、繰り返していない自分がある。

私の持論は「人間は働くから人間である」です。私もまた、働くことで自分と向き合い、昨日と違う新しい自分を見てみたい、だから仕事をします。そして毎月毎月、懸命に企画を練り上げ、読者に役立つ新しい情報を届けようとしている仲間たち。日本全国11,075,440部134誌の「地域みっちゃん生活情報誌」を、ご家庭にお届けしている彼ら一人ひとりが、この仕事を通して新しい自分を発見しています。

自分の能力と可能性を発見するために、私たちは働いています。

国スポ・障スポの広報誌をセンター版で掲載

地域みっちゃん生活情報誌

いよいよ来年！国スポ・障スポをさらに熱く！

2025年に行われる国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」のさらなる周知に向けて、滋賀県から『地域みっちゃん生活情報誌』を活用いただきました。滋賀県で発行する全6誌約45万部の表紙で開催まで1年半となったことを伝え、センター版で国スポ・障スポの広報誌を掲載。未配布エリアには新聞折込を活用し、県内計50万世帯に情報を届けました。



県内各地で熱戦が繰り広げられる国スポ・障スポ。広報誌は通常4ページのところ、今回8ページにボリュームアップ。会場マップを掲載したことで、「近隣で行われる競技のことを初めて知った」という反響、「もっと知りたい」「実際に見に行きたい」といったうれしい声をいただきました。地元出身の桐生祥秀選手の特別インタビューや、ボランティア募集に関しての感想も多く寄せられました。

当社では生活圏ごとに届ける配布ネットワークをいかして、狭域・広域両方へのリーチが可能です。市町村単位から県全域のお知らせまで、ぜひ当社にお任せください。
(びわこ編集室・田中)

地域密着のブランディング広告

地域みっちゃん生活情報誌

企業の思いに寄り添う伴走型支援！

岐阜県中津川市・恵那市で発行する『maika club』において、掲載いただいている日東工業株式会社。上場企業ながらもBtoBをメインとする事業の特性上、工場のある中津川市での認知不足に課題を抱えていました。中長期的なリブランディング活動も視野に入れ、まずは認知をということで、中津川工場の従業員がよく見るといふ『maika club』でのブランディング広告の年間契約をいただきました。



ソーライオンという日東工業株式会社のイメージキャラクターと共に、9月や3月には防災関連、夏休みには工作、採用時期には従業員の1日の仕事について取り上げるなど、毎回内容を工夫しながら制作。従業員の写真を掲載し、中津川工場の従業員の皆さんが元気に活躍していることが伝わるようにしています。従業員の家族や友人から『maika』見たよ」と声をいただくなど、うれしい話を聞くことができ、従業員のモチベーション向上にも貢献しています。
今後もクライアントに寄り添いながら共に解決策を考え、事業の発展に寄与できるよう取り組んでまいります。
(岐阜SP1課・志村)

女性向けマネーセミナーイベント年間告知計画

地域みっちゃん生活情報誌

ターゲットにマッチした告知媒体の選定

このたび、某保険代理店よりマネーセミナー告知方法について相談をいただきました。近年、資産運用の基礎やNISAをはじめとする金融知識について、20～50代女性の需要が高まっています。『地域みっちゃん生活情報誌』の読者層は女性が約7割を占め、20～50代が9割近くにのぼります。クライアントのターゲット層に適合しているということで、情報誌を活用した告知を提案しました。



イベントは定期開催を予定されており、告知媒体とタイミングが合うよう、年間スケジュールを提示。開催地が愛知県内各所と幅広いため、県内世帯到達率約7割の情報誌は相性が良く、現在さまざまなエリアで活用いただいております。

預金ではお金が増やしにくく、教育資金や住宅ローン、老後資金などお金の不安や悩みは尽きない状況です。正しい金融知識の普及と個人の資産形成は社会課題となっており、このイベントをきっかけに、より多くの皆さんに金融について知っていただくきっかけとなれば幸いです。
(名古屋AP課・松原)

岐阜県民の健康づくりを推進

事業運営

岐阜県健康づくりフォーラム運営事業を受託

岐阜県が主催する清流の国ぎふ健康づくりフォーラムの運営業務をイベントセミナー部にて受託。優れた健康づくりの取り組みを行う「健康づくり優良活動表彰の受賞団体」を紹介する動画、活動内容の紹介・県の制度を周知する冊子、フォーラムの告知チラシ、会場に掲出する看板やパネルの制作、県内12誌の『地域みっちゃん生活情報誌』を使った告知と表彰者の紹介、そしてフォーラムでは講師の招致・台本制作・司会派遣・舞台の進行管理まで事業全般を行いました。



講師派遣を専門とするイベントセミナー部のタレントブッキング力をいかし、フォーラムの講師をタレントの山田邦子さんに依頼。県内全域をカバーする『地域みっちゃん生活情報誌』で周知・啓発し、多くの県民の皆さんに健康づくりについて関心をもっていただくことができました。
イベントセミナー部では、自社メディアを発行する当社ならではのノウハウをいかし、イベント運営と付随する業務にトータルで対応可能です。イベントごとでお悩みの際は、ぜひ当社へお任せください。
(ES課・伏屋)

VCTOPIC

静岡県『ふじえ〜ら』株式会社藤枝江崎新聞店

情報誌の訴求力をいかし、物流の2024年問題の解決に貢献

『ふじえ〜ら』を配布する静岡県藤枝市内の新聞販売店・藤枝市・藤枝警察署・宅配業者が連携し、玄関前などに荷物を届ける「置き配」の防犯施策を推進する協定を結びました。宅配ボックスの購入・設置費用の2分の1(上限2万円)を補助する市の補助制度開始に合わせ、補助制度の詳細、宅配

ボックスの広告を見開きの中へまとめて掲載。読者からは「宅配ボックスに補助金が出ることは知らなかったのでびっくりした」「以前から購入を検討していたので、補助金が出るのと分かりうれしく感じた」などの声をいただき、広告の問い合わせも多くありました。開始1週間で補助金額の限度額は半分に達し、効果的なPRに繋げることができました。



▲『ふじえ〜ら』2024年5月号掲載誌面

CHUCO CLUB

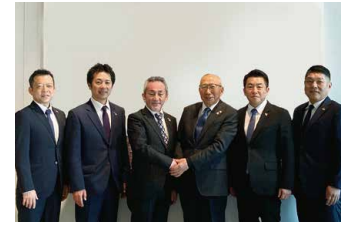
VC契約により新たに3社が加盟

このたび、当社は次の3社との間において、『地域みっちゃん生活情報誌』Voluntary Chain(ボランティア・チェーン)契約を締結しました。4月26日(金)に株式会社西埼玉ばど(埼玉県/ばど埼玉西版)、5月9日(木)に株式会社アクティブイエロー(秋田県/月刊イー・クラス)、5月16日(木)に株式会社ぶらざ(佐賀県/月刊ぶらざ)とそれぞれ調印式を執り行いました。西埼玉ばどは、中広グループの株式会社関西ばどとのFC契約により情報誌を発行していましたが、このたび、VC事業の本部である当社との直接契約となりました。



▲株式会社西埼玉ばどとの調印式

Voluntary Chain(ボランティア・チェーン)とは、複数の仲間が独立性を保ちながら志を共に、共同で企画・営業・運営をする組織を意味し、事業の効率化を図ることを目的とした事業形態です。



▲株式会社アクティブイエローとの調印式

VC事業部では5月末現在、全国各地の地域に根差した25社に加盟いただいております。『地域みっちゃん生活情報誌』ブランド134誌中47誌を発行。これからも情報誌の発行を通じて地域社会へ貢献するというボランティア精神(Volunteer Spirit)と、事業成熟(Win a Victory)を目指し、VC加盟25社と共にまい進いたします。
(VC事業部・武)



▲株式会社ぶらざとの調印式

地元テレビ局情報番組に『地域みっちゃん生活情報誌』編集室が制作協力

メ〜テレ(名古屋テレビ放送)で放送中の情報番組「ドデスク+」(月～金 午後3時40分～午後7時)の金曜特集「～地元自慢ランキング～マチ10」に、『地域みっちゃん生活情報誌』編集室が制作協力しています。このコーナーは東海3県に位置する市町村ごとに、そのマチの自慢をベスト10でランキング化し紹介するもの。地元を知り尽くした編集室がランキング作成を全力応援しました。



当社は地元情報を届けるまち歩きや、地域の文化に迫る企画など、テレビに限らずメディア協力しています。今後も各エリアで協力していく予定ですので、お声がけください。
(広報・マーケティング担当 岡本)

小説『女子大小路の名探偵 新章』が連載開始

『地域みっちゃん生活情報誌』で連載し書籍化され、メ〜テレ60周年記念作品として映画となった小説『女子大小路の名探偵』。このたび、満を持して『女子大小路の名探偵 新章』(第2弾)が始まりました。岐阜・愛知の『地域みっちゃん生活情報誌』で告知し、オフィシャルサイトで連載します。名古屋、岐阜市を中心に、新章では日本最大級の踊りの祭典「につぼんど真ん中祭り」を舞台に物語が展開します。2025年2月号まで10回連載し、その後の書籍化で完結を予定しています。中広発のオリジナルコンテンツを、ぜひともお楽しみください。
(クリエイティブ部・佐藤)



▲こちらのサイトで小説の連載がお読みいただけます

部署だより NO.125

FM事業部『オレンジクラブ』編集室



▲『オレンジクラブ』編集室スタッフ

2024年8月号(7/26発行)より、愛知県蒲郡市と額田郡幸田町にまたがり『地域みっちゃん生活情報誌』を新規創刊いたします。蒲郡市は三河湾に面する観光地で、ラグーナテンボスや温泉街が有名です。特産の蒲郡みかんは甘みと酸味のバランスが良く、贈り物にもおすすめです。一方、幸田町の特産物である筆柿は非常に糖度が高く、濃厚な甘みが特長なので、柿が苦手な人にもぜひ一度食べていただきたいです。

どちらのエリアにも各戸配布の競合誌は存在せず、このような媒体を活用した広告手法は浸透していないと思われます。地域を元気にする「広告のプロ」として、これまでになかったようなさまざまな提案を約束いたします。両市町の特産物からヒントをもらい、創刊する情報誌を『オレンジクラブ』と名付けました。地元民なら誰もが胸を張って自慢する蒲郡みかんや筆柿のように、『オレンジクラブ』も地域のの人に知られる、自慢の情報誌となるよう努めます。
(オレンジクラブ編集室・竹内)

編集後記

3月期決算を良い形で発表することが叶いました。ひとえに支えてくださった株主、取引先、読者の皆さんのお陰であり、奮闘した社員の成果です。感謝申し上げます。さて先月はもうひとつ明るいニュースが。中広に野球部が発足しました。親善試合を行おうと呼びかけたところ、試合当日は応援を入れると100名近い社員が集結。普段は無口な後輩がハッスルしている姿や、思いのほか運動神経抜群だった先輩など、いつもとは違った一面を垣間見ることができました。部署を越えた交流に、年齢も性別も関係なくおおはしゃぎする姿は、相手チームに「中広さんのノリの良さに感服いたしました。完敗です」と笑われるほど。当社は全国に社員がいるので、ほかのエリアとも交流できる何かが生まれると良いなと思いました。eスポーツかな!?
(広報・マーケティング担当 岡本)



ハイブリッド広告がもたらすデータ戦略を活かす クリエイティブカで「伝わる」を実現

前期、ハイブリッド広告によって全国から集積された、実績値に基づく広告提案を武器に受注が増加。今期はさらに加速度的に増えるデータを基に、Data Drivenに力を入れていきます。しかし、いくらデータで傾向を解析できても、クライアントや商品、キャンペーンに合わせた適切なアウトプットができなければ意味がありません。そして、繊細で緻密な表現が必要となるのが広告や販促の世界であることも、またしかりです。

アウトプットを下支えする クリエイティブ

中広は今年47期目を迎えた総合広告会社です。47年前、インターネットのない時代から、広告を生業にしてきました。当時より、クライアントの要望をくみ取り形にしていくライター、エディター、デザイナーなど、クリエイティブのプロフェッショナルを社内組織しています。広告における三種の神器は「形にする力」と「精度を上げるためのデータ」、そして「担当者の熱意」と言っても過言ではありません。

今回は、そのアウトプットを支えるクリエイティブについてご紹介いたします。

で参戦しました。プレゼン前には地元のつながりを活用し、さまざまな施設関係者へヒアリングを実施。そのなかで出てきたキーワードをもとにパンフレットのコンセプトを決定することで、地域の想いを具現化しました。

パンフレットは3月に納品しました。非常に好評で、すでに重版が決定しています。

担当 伊藤、山口(企画)

ケース2

県広報制作実績により 同県医療施設からオーダー

当社では2014年より岐阜県の広報を制作、2018年より「三重県からのお知らせ」を情報誌へ掲載いただいているところですが、このたび、三重県立総合医療センターより、年4回発行の広報誌「医療センターニュース」を受注しました。プロポーザルでは、より多くの方の手に届く仕掛けとして、デザインの一環と新たなコンテンツを提案。三重県四日市市にて長年発行している「よっかいちai」を制作するノウハウを活かした編集・ディレクションカや、デザインへの知識などに評価をいただき、受注に至りました。

担当 鶴橋、新井(編集)



読みやすさを意識したデザイン案を提案

ケース3

早稲田大学附属・系属校の 学校案内パンフレット

当社では、早稲田大学の附属校である早稲田大学本庄高等学院と、早稲田大学の系

属校である早稲田実業学校(初等部、中等部)の学校案内パンフレット制作をお任せいただいています。

両校共に目を引く表紙、整理整頓された読みやすい割割、適切で統一感のある版面の設計など、情報誌制作のノウハウを活かした誌面制作力をベースに、クオリティの高いカメラマンの手配と撮影のディレクションカ、デザイン力で一冊をまとめ上げています。

こうしたクリエイティブカは社内クリエイターの自己研鑽はもちろんのこと、ハイブリッド広告で集積されたデータから、反響の高い制作物のデザイン、コピーの傾向などをひも解き、常にバージョンアップを怠りません。

担当 島田、小林(編集) 伊藤(デザイン)



早稲田大学本庄高等学院2024年学院案内パンフレット。表紙は同学院が募集した生徒によるイラストで構成

地域プロモーションにおいて 中広を持つ強み

当社には「形にするクリエイティブ」「精度を上げるためのハイブリッド広告データ」、そして「すべてはクライアント・読者のために」という熱意「すべてが揃っています。

特にハイブリッド広告データに関しては、日本最大級の規模感を持つ、他に類を見ない取り組みであり、強みです。その信頼性は、多くの企業、行政、学校などの受注実績が物語っています。

会社概要	商号	株式会社 中広 (CHUCO CO., LTD.) 東証・名証 証券コード【2139】	
	創業	1978年	
	資本金	4億430万円	
	従業員	446名 グループ全体 680名 (2024年5月末現在)	
事業内容	フリーマガジン事業 セールスプロモーション事業 クロスメディア事業	イベント・セミナー事業 通信販売事業 VC事業(ボランタリー・チェーン)	
理念	広告業を通して「地域社会への貢献」	(地方創生に!)	
社是	人が命・人が宝・人が財産 機会損失の排除	(社員が輝く組織に!) (モノ・トキ・ココロの無駄ゼロ)	
社訓	飲水不忘掘井人	(感謝の心で!)	
グループ会社	株式会社中広メディアソリューションズ 株式会社ケイ・クリエイティブ 株式会社ケイビーエス 株式会社 関西ぼど	https://chuco-ms.co.jp http://www.k-create.co.jp http://www.post-kps.co.jp https://www.kansaipado.co.jp	

第47期 基本方針			
スローガン	Data Driven	テーマ	全員経営

オフィシャル運営サイト	●中広企業サイト ●中広採用サイト ●中広VCサイト ●フリモ(WEB) ●講演会インフォ ●わくわく生活(楽天)他 ●販促blog ●HAPPY MEDIA GUIDE(情報誌見稿サイト) ●ハッピーメディアの児童虐待防止運動 ●日本地域メディアネットワーク(JLMN)	リンク集はこちら	
公式アカウント	●Facebook ●YouTube ●Instagram ●(旧)Twitter		
加盟団体	●JLAA 一般社団法人日本地域広告会社協会		



営業拠点

<p>■ 本社 岐阜本社 岐阜市東興町27 TEL.058-248-5611</p> <p>名古屋本社 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.0770-24-2622</p> <p>■ FM・SP事業部 《北海道》 SORA編集室 滝川市東町6-1-11 TEL.0125-74-6189 旭川市東光6条6-4-7 TEL.0166-85-6158</p> <p>AO編集室 苫小牧市旭町3-7-6 TEL.0144-56-5704</p> <p>《宮城県》 とみずい!編集室 仙台市泉区泉中央1-33-7 2F TEL.022-341-4809</p> <p>なうてい!編集室 名取市手倉田字踏訪532-1 1F西 TEL.022-797-8541</p> <p>さきっぺ!編集室 大崎市古川旭5-3-2 2F TEL.0229-25-8792</p> <p>《群馬県》 高崎フリモ 前橋フリモ編集室 高崎市新保町139-1 2F [高崎フリモ]TEL.027-353-8714 [前橋フリモ]TEL.027-353-8711</p> <p>伊勢崎フリモ 太田フリモ編集室 伊勢崎市茂呂町2-3522-6 TEL.0270-61-6117</p> <p>桐生みどりフリモ編集室 桐生市本町6-27-1 3F TEL.0277-47-7635</p> <p>《埼玉県》 クッキーズ・とねじん編集室 久喜市久喜中央2-8-23 3F TEL.0480-38-6881</p> <p>《東京都》 東京SP部 港区新橋2-16-1 9F TEL.03-6910-2940</p>	<p>《福井県》 きらめきくらぶ編集室 敦賀市野中40-277-2 1F TEL.0770-24-2622</p> <p>《岐阜県》 GIFUTO編集室 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2512</p> <p>SARUBOBO編集室 高山市下岡本町2967-2 TEL.0577-34-5579</p> <p>Wao!Club・mintoup はしまる編集室 大垣市加賀野4-1-13 [Wao!]TEL.0584-75-1960 [mintoup]TEL.0584-77-4088 [はしまる]TEL.0584-71-6226</p> <p>GUJOプラス編集室 郡山市八幡町小野91-1 TEL.022-341-4809</p> <p>たんとんくらぶ編集室 各務原市那加栄町14-1 TEL.058-380-6066</p> <p>きららくらぶ編集室 関市山通1-6-3 TEL.0575-24-4334</p> <p>《群馬県》 かにさんくらぶ編集室 前橋フリモ編集室 可児市今渡字町1595-190 TEL.0574-25-7009</p> <p>おりべくらぶ編集室 多治見市太平町4-38 TEL.0572-21-2626</p> <p>らせるくらぶ編集室 土岐市泉西山町1-4 3F TEL.0572-55-2033</p> <p>maika club編集室 中津川市中津川字上金1231-1 TEL.0573-62-2522</p> <p>官公庁営業部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2511</p> <p>岐阜SP部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2511</p> <p>東京SP部 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-571-2139</p>	<p>ES部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-248-5611</p> <p>EC部 大垣市加賀野4-1-13 TEL.0584-74-0745</p> <p>《愛知県》 NAGOYA FURIMO 各編集室 [中村・中川・港区版] 名古屋市瑞穂区森107 2F TEL.052-355-6111</p> <p>[中央・西区・北区・名東・天台・南区版] 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-433-1602</p> <p>緑区フリモ編集室 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-829-0270</p> <p>山守フリモ アサヒトセト・ひまわりくらぶ編集室 尾張旭市東本郷地ヶ原町3-53 2F [山守フリモ]TEL.0561-42-5799 [アサヒトセト]TEL.0561-42-6981 [ひまわりくらぶ]TEL.0561-42-6971</p> <p>ゆいまるくらぶ・さんごくらぶ かなうくらぶ編集室 愛知郡東郷町北山台4-1-6 [ゆいまるくらぶ]TEL.0561-42-4850 [さんごくらぶ]TEL.0561-42-4885 [かなうくらぶ]TEL.0561-42-4855</p> <p>Cocon club・ちるるくらぶ 安城フリモ・北知多フリモ編集室 知多郡東浦町大字緒川字下汐田17-1 TEL.0562-85-1077</p> <p>リブル倶楽部編集室 大山市松本町2-29 TEL.0568-39-6111</p> <p>岡崎フリモ編集室 岡崎市明大寺町字寺東9-1 5F TEL.0564-83-7121</p> <p>西尾フリモ・オレンジクラブ編集室 額田郡幸田町大字芦谷字毛倉62 1F TEL.0564-83-7763</p> <p>名古屋SP部 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-571-2139</p>	<p>《三重県》 ほろんくらぶ編集室 桑名市殿町10 TEL.0594-25-9988</p> <p>Bellve club編集室 鈴鹿市神戸1-10-10 TEL.059-373-4400</p> <p>よっかいちai編集室 四日市市瑞の森1-5-16 8F TEL.059-325-7562</p> <p>つっぴ〜す編集室 津市栄町1-840 5F TEL.059-213-7666</p> <p>リーガクラブ編集室 名張市鴻之台3番町36-1 TEL.0595-41-0156</p> <p>ふぁみんくらぶ編集室 松阪市東町596 3号棟 1-A TEL.0598-31-3623</p> <p>イセクラブ編集室 伊勢市岩洲3-6-5 2F TEL.0596-63-8282</p> <p>からっと倶楽部編集室 尾鷲市坂場西町2-34 2F TEL.0597-37-4100</p> <p>さみっくらぶ編集室 志摩市阿児町鶴方2850-126 D号室 TEL.0599-65-7201</p> <p>三重SP部 四日市市瑞の森1-5-16 8F TEL.059-325-7562</p>	<p>びわこ編集室 関西SP部 大津市浜大津2-1-35 6F TEL.077-521-3911</p> <p>《奈良県》 かしるくらぶ編集室 橿原市基本町260-1 1F TEL.0744-48-0606</p> <p>《和歌山県》 まいなまが編集室 岩出市高瀬84-2 2F TEL.0744-48-0606</p> <p>《鳥取県》 つばさ編集室 鳥取市吉方温泉3-860 2F TEL.0857-30-6446</p> <p>くらくらぶ編集室 倉吉市山根540-1 4F TEL.0858-27-0510</p> <p>こはくらぶ編集室 米子市西福原2-9-49 2F TEL.0859-21-5400</p>	<p>■ グループ戦略統括事業部 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-562-2139</p> <p>■ 管理本部 経理部・総務人事部 岐阜市東興町27 2F TEL.058-240-4005 [購買流通課]TEL.058-246-0285</p> <p>■ グループ会社 株式会社関西ぼど 本社 大阪市西区粉本町1-10-24 5F TEL.06-6479-3113</p> <p>北大阪支社 寝屋川市大利町10-10 1F TEL.072-827-0817</p> <p>東大阪営業部 東大阪市下小阪2-14-16 3F TEL.06-6729-8101</p> <p>株式会社中広メディアソリューションズ 横浜支局 横浜市中区真砂町3-38 5F TEL.045-225-9267</p> <p>埼玉支局 さいたま市南区南浦和2-39-16 3F TEL.048-767-8238</p> <p>仙台支局 仙台市若林区新寺1-2-26 5F TEL.022-792-8101</p> <p>山形オフィス 山形市舘野町1-1-1 2F TEL.023-616-7390</p> <p>株式会社ケイ・クリエイティブ 本社 一宮市木曾川町里小牧寺東125 TEL.0586-86-0608</p> <p>東尾張支社 岩倉市新柳町1-50 2F TEL.0587-96-8336</p> <p>株式会社ケイビーエス 岩倉市新柳町1-50 2F TEL.0587-96-8336</p>
--	---	--	--	---	---

※従業員数はグループ会社含む ●…地域みっちゃく生活情報誌®